

指導事例

高等学校 LHR	題材名  <b>男女の意識と行動</b>
-------------	----------------------------

1 題材について

高校生期は身体、生理面はもちろん、心身の全面にわたる発達が進んでくる。また男女交際をしている生徒も増え、交際に憧れを抱き始める時期である。しかし、相手の心理を十分理解できなかつたり、自己コントロールがうまくできなかつたりして、不安や悩みを抱える生徒も多い。そこでこの時期に、男女の心理の違いを理解させ、相互の人間性を高め、男女交際に限らず、よりよい人間関係を築くために、他人を思いやる心や人格を尊重する態度を身に付けさせることは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 男女交際について、お互いの個性を理解し尊重し合い、対等な人間関係を築くことの大切さについて理解することができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 男女の性に対する意識や行動について考える。 ・男女の性に対する意識や行動の違い	○ 性に対する意識や行動の男女差や個人差について確認する。	
展開	2 資料1の例から女子高校生の悩みを聴き、彼氏・彼女へのアドバイスを考える。  3 グループに分かれ意見を出し合う。 ・彼氏、彼女はどんな思いだろう。  4 友達の意見や考えを聞いて、男女の意識の違いについて再確認し、互いの理解と尊重が大切であることを理解する。	○ 資料を読み聞かせ、男女それぞれの気持ちを考えさせる。  ○ 生徒の実態に応じ男女一緒、あるいは男女別にグループを作り、資料の事例について意見を交換させる。  ○ 相手が望まない行動や、自分の感情を押しつけることは、相手の人権を無視した行為であり、人間関係を築くためには、互いを理解し尊重することが重要であることを考えさせる。	・女子高校生の悩み <資料>
終末	5 学習のまとめをする。 ・男女交際で大切なことについて考える。	○ 男女関係だけでなく、あらゆる人間関係において、相手を尊重し、思いやりの心を持ち、よりよい人間関係を築いていこうとする意欲付けをする。	

4 他の教育活動との関連

- 生涯の各段階における健康、思春期と健康（保健体育）
- 人の一生と家族・家庭（家庭総合）

5 授業の配慮事項

- 主にグループでの活動になるので、各学校や各年・学級等の実態に応じて意見の出しやすいグルーピングを心掛ける

<資料>

## 女子高校生の悩み

ある新聞に投書された内容を紹介します。

私には彼氏がいます。

友人の紹介で付き合い始めて、もう6ヶ月が経ちました。

彼は私と同じ高校3年生で、勉強や部活動など色々な話題で会話が  
進み、楽しい時間を一緒に過ごせる人です。

彼との付き合いは、3日に1度の電話で1時間ほどお話しするのと、  
1ヶ月に1回、私の家に遊びに来るくらいでした。

彼の友人も一緒に来て、ゲームをしたり、わいわい騒いだりするよ  
うな関係でした。私は彼とのそんな付き合いに、十分満足していました。  
とっても幸せで、彼のことが大好きでたまりませんでした。

この間、彼が「俺の家に遊びに来ないか。」と言ったので、ためらう  
こともなく翌日彼の家に行きました。

彼の家には誰もいませんでした。

私は少し緊張しましたが、いつものように話をしていると、そんな気  
もどこかへ行って、とても楽しい時間が過ぎました。

ところが、冗談を言っているうちに急に強い力で腕を引っぱられ抱き  
しめられて、押し倒されました。

私はびっくりして、半分泣きながら叫んでいました。彼もその声で我に  
返ったのか、私の体から手を離しました。

私は強い口調でののしり、けんかをして家に帰り  
ました。

彼の家であったことは、彼が全面的に悪いと  
は言えません。

私もあまりに無神経だったし、反省しています。

今後、彼とどういふ付き合いをしたら良いのか  
悩んでいます。



高等学校 LHR	題材名 <b>男女の人間関係と自分の気持ちを伝えること</b>
-------------	------------------------------------

1 題材について

高校生になると男女交際をしている生徒も見られるようになり、また、そうでない生徒でも異性との交際に憧れを抱き始めていると思われる。しかし、相手のことを思いやり、お互いが尊敬し合えるような人間関係が築けないことから、他者や特に異性との関わりにおいて、自分勝手な言動が思わぬひずみを起こしたり、関係を壊したりする場合もある。

このようなことから、この時期に、お互いが理解し合い、互いに高めていくことができる人間関係を築くためのポイントや、相手への自分の関わり方が真に相手の立場を尊重するものになっているのか、また、相手に自分の気持ちを伝えるときに、どのような方法で伝えたら良いのか等について、具体的に考えさせることは重要なことである。そこで、生徒一人一人に男女関係に限らず幅広く多くの人と適切な人間関係を築こうとする態度を身に付けさせることには大きな意義があると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 異性関係だけでなく、どんな人間関係においても相手を思いやる気持ちが大切であることを理解し、自分の気持ちを相手に伝えるための具体的な方法を身に付けることができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 「男女の意識と行動」の学習を想起する。	○ 性に対する意識や行動には、個人差や男女差があることを想起させる。	
展開	2 グループワークⅠ (1) 「あるカップルのやりとり」を読んで自分の考えをまとめる。 ・自分の意見について ・二人の良くないところについて等 (2) 個々の感想や意見について話し合う。 ・他者の意見や考え方を知る。 (3) グループごとに意見を発表する。	○ 自分の感想や意見をワークシートに書かせる。 ○ グループで発表する前に自分なりの意見を必ずもたせる。  ○ 4人程度のグループを作らせ、感想や意見を交換させる。 ○ グループの代表者にみんなの意見をまとめて発表させる。	・ワークシート ①<資料1>
展開	3 グループワークⅡ (1) 「ケース1」「ケース2」について自分の意見をまとめる。  (2) グループに分かれて個々の意見について話し合う。  (3) 学級全体で話し合う。	○ 自分の考えをワークシートに書かせ、自分の気持ちを相手に伝えるための具体的な方法について理解させる。 ○ 他者の意見を聞き、色々な考えがあることに気付かせる。 ○ グループごとに発表させ出された意見について、全体で協議する。	・ワークシート ②<資料2>
終末	4 学習のまとめをする。 ・相手を尊重した気持ちの伝え方について確認する。	○ 自分の言動について振り返らせ、男女の関係に限らずよりよい人間関係を築いていくために必要な事柄について、具体的にまとめさせ実践を促す。	・ワークシート ②<資料2>

4 他の教育活動との関連

- 社会と情報（情報）

5 授業の配慮事項

- 学級の状況に応じて男女一緒や男女別など、活発な意見交換がなされるように配慮する。
- 本事例と同様のことで悩んでいる生徒がいることも考慮する。

### あるカッパルのやりとり



B男：今度の日曜日に会わないか？  
A子：う～ん、その日悪いけど部活なんだ。  
B男：部活なんてさぼればいいじゃん。  
A子：でも試合が近いから、やっぱり行かないと…。  
B男：おい、お前。何考えてんだよ！俺と部活とどっちが大事なんだよ。  
A子：でも今度の試合、大事な試合なんだよ。負けたくないし…。  
B男：どうせ練習したって勝てるわけないよ。練習しても無駄だよ。  
俺がやめろって言うてるんだから、部活に行くのはやめろよ。  
A子：わかった…。そんなに言うなら部活には行かないわ。

1 二人のやりとりを読んで、どう思いましたか。感想を書きましょう。

2 二人の言い方でそれぞれよくないと思うところはどこですか。

3 B男は、どんな言い方をすればよかったですか。

4 A子は、どんな言い方をすればよかったですか。

5 二人がどんな関係に変わっていったら良いと思いますか。

6 グループでみんなの意見を聞いてどう思いましたか。感想を書きましょう。

### あなたはどのように自分の気持ちを伝えますか？

二つの場面（ケース1、ケース2）を見て、自分の気持ちを相手に伝えるとしたら「メール」それとも「会って直接自分の言葉」のどちらが良いと思いますか？それぞれについてあなたの感想を書きましょう。

ケース1

「うそをついて、ごめんなさい」

「私の方こそ ごめんなさい」

「メール」それとも「会って直接？」

どちらを選ぶ？

選んだ理由・感想

ケース2

「俺、おまえのこと好きなのかも…」

「ありがとう」

「メール」それとも「会って直接？」

どちらを選ぶ？

選んだ理由・感想

グループでの話し合いに出た意見や感想を聞いて、あなたはどんなことを感じましたか。

指導事例

高等学校 LHR	題材名 <b>性感染症と私たち～WYSH教育より～</b>
-------------	----------------------------------

1 題材について

近年、クラミジアや淋菌感染症等の性感染症が増加し始め、これらの性感染症は無症状であることが多いため、若い女性を中心に相当な流行が起こっていることが推測されている。

さらに、10代の人工妊娠中絶も増加を続けており、同じ傾向が全国一斉に生じ、中絶と性感染症が同時に急増するという事態が進行してきた。

このようなことから、生徒たちがこれまでに学習した性に関する知識をより深化させ、性感染症・人工妊娠中絶等は、若者にとって身近で、決して他人事ではないリスクであることを認識させ、他者とよりよい人間関係を築くことができる生徒を育成することは重要であると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 性感染症に感染するメカニズムを知り、様々な性情報があふれる現在の日本においては、性感染症が蔓延しつつあることを理解することができる。
- 性行為に伴う様々なリスクを知り、誰にでも可能性のある身近な問題であることを理解することができる。
- 性感染症の拡大を防ぐ観点から、互いを思いやり、性行動に対する賢明な意志決定や行動選択の在り方を考え、丁寧な人間関係を築くことの大切さに気付くことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 グループ対抗のクイズゲームを行う。 ・HIVウイルスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「○×式」や四択式で正解を競わせる。                              ※この際、事前のアンケートで正解率の高かった質問から徐々に正解率の低かった質問へと移行する。</li> <li>○ 真剣で活発なグループ活動をさせ、本時の学習のねらいが達成されるような配慮をすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイント&lt;資料&gt;スライド No1～No15</li> <li>・○×用紙等</li> </ul>
展開	2 講義を行う。 ・リスクパーソナライゼーションについて (個人に応じた誰にでもある危険性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の性感染症や人工妊娠中絶の情報、性的ネットワークの概念を伝える。また、クラミジアとその合併症及び人工妊娠中絶についても詳しく説明する。</li> <li>○ 情報が多すぎて印象が薄れるのを防ぐため、性感染症の説明はクラミジアにとどめる。それ以上の説明はWYSHの携帯サイトを紹介する。</li> <li>○ コンドームの有効性には簡単に触れるが、実物を見せたり装着の実演は行わない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイント&lt;資料&gt;スライド No16～50</li> </ul>

展開	3 グループワークを行う。 ＜テーマ例＞ ・「予防方法を考えよう」 ・「私の夢」 など	○ あるテーマを与え、グループで討 討議し発表させる。 ○ 将来を見据えた夢のある討議を させる。	・ 独自に制作 したビデオ等
	4 人間関係に関するビデオを鑑賞す る。 ・「人と人とのつながり」	○ 様々な人間関係の様子を伝える るために独自に作成したビデオを 上映する。 ○ ビデオに使う写真は、生徒の生活 の一部分や、生徒を取り巻く人々の 1コマを採用し、実生活に近づけさ せる。 ○ ビデオに使う挿入句は、「人」「人 と人」「時の流れ」「いつでも一緒」 「手をつないで」などシンプルなも のを採用する。 ○ ビデオの最後の挿入句は、メッセ ージ性のあるものを使い生徒に共 感させる。	
終末	5 学習のまとめをする。 ・教師からのメッセージを伝える。	○ 誰もが皆、それぞれにすばらしい 存在であることや、命の尊さを感じ とらせる。	・ 感想文用紙 等

#### 4 他の教育活動との関連

- 人の一生と家族・家庭（家庭総合）

#### 5 授業の配慮事項

- パワーポイントでの講義は、世界から身近な情報へと導き、生徒たちが「他人事ではない」という意識をもてるようにする。
- グループワークでは、生徒たちの身近にある問題を取り上げる。その上で、個人が自由に意見を発表し、また仲間の意見を真剣な態度で聞くことができるようにする。
- 人間関係に関するVTRは、各学校で身近な材料をもとに制作することが望ましい。
- 単なる知識を伝えるのではなく、これからの生き方や人間関係の在り方について考えさせる。

#### 〈WYSH教育とは〉

「Well-being of Youth in Social Happiness」の略で若者の真の幸せ（Happiness）を最終ゴールとするプロジェクトであり、京都大学 木原雅子准教授により提唱されています。

- ① 取り組み前後の調査に基づいて、各校の児童生徒の発達段階に応じた内容を開発し、かつ効果を評価する科学的プロジェクトであること。
- ② 技術教育ではなく、『人間関係の回復』を目指すため、「性に関する教育」だけでなく、子どもの問題に関する他の教育にも応用可能であること。

を特徴としています。

また、メインメッセージとして

「希望に向かって凜として生きて欲しい」ということ

サブメッセージとして

「誰にでもリスクがある」（危機管理教育）ということ

「時間をかけて丁寧な人間関係を築いて欲しい」（人間基礎教育）ということ子どもたちに伝えることとしています。

活用教材「人と人とのつながり」はWYSH教育を進める際の効果的な活用教材であり、生徒に自分の生き方について考えさせるメッセージ性のあるビデオを自校で作成することで、さらに効果が高まります。

高等学校 LHR	題材名  <b>デートDV～WYSH教育より～</b>
-------------	-----------------------------------

**1 題材について**

近年、社会の急激な変化や情報化社会の進展、価値観の多様化などにより、よりよい人間関係を築くことができない人が多くなってきている。その中で子どもや高齢者に対する虐待やドメスティックバイオレンスなどの事件が新聞やテレビで報道されることが多くなった。

このようなことから、高校生の時期の男女交際の在り方や、一人の人間として他人や異性とのような関わりをもつことが望ましいか、より深く考えさせる事は極めて大切である。

そこで、DVやデートDVが決して他人事ではなく男女交際のリスクの一つであることを理解させ、男女間のよりよい人間関係を築くことができる生徒を育成することは意義深いと考え、本題材を設定した。

**2 ねらい**

- 親密な関係の中で起きるDVには、身体的・性的・経済的、精神的暴力等があることを理解することができる。
- 男女交際におけるデートDVの実態とその対処方法（相談方法）を理解することができる。
- 固定的な性役割・性観念がDVの原因や助長の要因になっていることを理解し、よりよい男女の人間関係を築くことができる。

**3 指導展開例**

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 6～8人のグループを作り、デートDVについての説明を聞く。 ・DV、デートDVについて（身体的、性的、経済的、精神的暴力があること等）	○ 「ドメスティックバイオレンス（DV）は、夫婦や恋人のような親密な関係で起こる一方的な支配・暴力である」ことを理解させる。 ○ 特別な人に限ったことではないことを理解させる。	
展開	2 資料1の事例についてグループで話し合う。 ・Aさん、B君に対する感想  ・友だちから同じような相談を受けたときの言葉かけ  3 資料3をもとに、DVに対する正しい理解について学習する。 ・DVの相談に対する対応の例 ・DVの種類	○ Aさん、B君についてどう思うかそれぞれの意見を交換させる。 ○ 自分たちの身近でも十分に考えられる事例である（他人事ではない）ことを押さえる。 ○ 似たような相談を受けたときの言葉かけについてグループで話し合わせワークシートにまとめさせる。	・こんなことありませんか？ <資料1>  ・WYSH学習「デートDV」ワークシート <資料2>
終末	4 学習のまとめをする。 ・DV発生の要因等について考える。	○ 要因として固定的な性観念等も考えられることを押さえるとともに、男女間の正しい人間関係について時間をかけて築くことの大切さについて理解させ、実践を促す。	・DVに対する正しい理解 <資料3>

**4 他の教育活動との関連**

- 生涯を通じる健康（保健体育）
- 人の一生と家族・家庭及び福祉（家庭総合）

**5 授業の配慮事項**

- グループ活動が多いので、各学校や各年・学級等の実態に応じたグルーピングをする。
- 最後の教師によるメッセージは、生徒達が目標を達成するためのやる気や元気につながるものにする。



<資料1>

## こんなことはありませんか？ デートDVの例

いつもはやさしいのに、気に入らないと暴力をふるうカレシ

### Aさんの場合

いつもはやさしいカレシ。でも、最近、気に入らないことがあるとすぐ怒り出すようになった。不機嫌になって無視したり、「バカじゃね〜の」って怒鳴ったり…。

時には、「ウザいんだよ」って私の足をけったりする。この前、デートに遅れたことで、私の手をつかんで殴りかかっていたときには、ホントに怖くてヒザがガクガクだった。

でも、後で「ごめんね。」って。カレシを怒らせている私が悪いのかな…。 (T\_T)

どこで何をしているのかいつも確認するカノジョ

### B君の場合

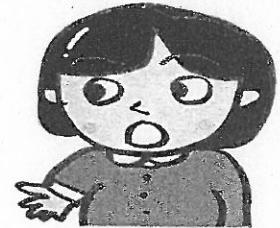
カノジョのことはかわいいし大事にしたいと思ってる。

「いつも一緒にいないとイヤ」と言われて毎日一緒に帰るのに「今どこ？何してるの？」ってメールや電話が毎日何度も何度も来る…。最近では、男の友達との付き合いもチェックしてくるし、しまいには「私と友達のどっちが大事なの？」って。

カノジョに監視されているみたいで好きなことができなくなった…。 (>\_<)

<資料2>

WYSH 学習 「デートDV」ワークシート  
グループで次のことについて、話し合ってみよう。



(1) Aさん、B君をどう思いますか？

(2) 友達から似たような相談を受けたら、どんな言葉をかけますか？

<資料3> DVに対する正しい理解

**1 DVの相談に対する対応の例**

- ① 友だちの話は時間をかけて、じっくり聞きましょう。
- ② 友達の考え、気持ち、立場を理解し、友達を批判したり、責めたりしないようにしましょう。
- ③ 「あなたを信じている」と言ってあげましょう。
- ④ 「あなたの責任ではない」と何度も言ってあげましょう。
- ⑤ 「あなたがそんな目にあっているはずがない」と言ってあげましょう。
- ⑥ 友達から聞いた話を他の人に言わないようにしましょう。うわさが広まることで、友達ももっと危険な目に遭うあうかもしれません。
- ⑦ あなたが解決してあげようと思わないで下さい。考えやアドバイスを押し付けないことです。
- ⑧ 自分で決められるように支えてあげましょう。自分が決めない限りうまくいきません。
- ⑨ サポートを広げるように励ましましょう。例えば友達が両親や先生、信頼できる大人に話せるように支えてあげましょう。

★ 大人や相談機関に相談してみるようにすすめましょう。

**2 DVの種類**

暴力の種類にはいろいろあります。体への暴力だけが暴力ではありません。DVは単なる暴力ではなく、親密な相手を思い通りに動かすために、複合的に使われるあらゆる種類の暴力を指します。DVとは、相手を怖がらせたり傷つけたりして、自分の思い通りに動かそうとするすべての態度・行動のことです。

**【身体的暴力】**

- 物を投げる。かみつく。つかんでゆする。監禁する。たたく。蹴る。髪の毛をつかんで引っ張る。首を絞める。やけどをさせる（たばこを押しつける）等

**【性的な暴力】**

- 性行為を無理強いする。性行為に応じないと不機嫌になる。ポルノ等を無理やり見せる。避妊に協力しない。

**【経済的な暴力】**

- お金を払わせる。貢がせる。借りたお金を返さない。

**【精神的な暴力】**

- ばかにしたことばを言う。繰り返し批判したり否定的な言葉を言う。メールや電話を頻繁に要求する。メールを勝手にチェックする。無視する。にらみつける。「別れる」「自殺する」「死ね」等と言ったり、秘密をばらすと言ったりして脅す。

★ 体への暴力がないからたいしたことがないと思うのは間違いです。